

平成22年度事業計画

1. 事業の概要

前年度に引き続き花と緑の普及による国土緑化を推進し、もって花と緑による潤いのある豊かな社会の実現に寄与するため、花の普及に関する全国的な啓発活動を実施するとともに、花きに関する総合的な調査研究、国際交流等を実施する。

なお、農林水産省の補助事業等の事業内容や実施方法等が平成22年度から大きく変更されたので、これらの状況に的確に対応できるよう、花き関係団体と連携を図りつつ実施体制を確保する。

2. 国土緑化事業の内容

(1) 「花っていいよね。キャンペーン」の推進

「花のある豊かで潤いのある生活」の実現に向けた普及啓発活動として、平成18年度から取り組んでいる「花っていいよね。キャンペーン」については、引き続き、その標語とシンボルマークの活用を花き関係団体等に広く呼びかけて、全国的な運動として推進する。

また、このキャンペーンの一環として、「花にまつわるちょっといい話」や「ちょっと楽しい花のインテリア」等を広く一般公募するとともに、その入賞作品を花と緑の普及啓発素材として活用する。

(2) 花育活動の推進

花きの多様な機能に着目し、花きを教育、地域活動等に取り入れる花育活動を全国的な運動として推進するため、花き業界関係者の幅広い参加協力を得て設立された全国花育活動推進協議会の事務局として、花育活動の普及啓発、モデル地区の支援、花育アドバイザーネットワークシステムの運営等の業務運営に当たる。

なお、全国花育活動推進協議会は、今年度、農林水産省の公募事業に応募して、平成22年度花き産業活性化事業（花育活動推進事業）を実施することになったので、この事業の円滑な実施に協力する。

(3) 花き産業の情報化の推進

我が国の花き産業の総合的な情報化を推進するため、その基礎となる品種別取引コードの運営管理及びその活用の普及啓発等を実施する日本花き取引コード普及促進協議会が組織されているが、その事務局として品種別取引コードの設定・

更新及びその活用の普及啓発等の業務運営に当たる。

なお、日本花き取引コード普及促進協議会は、今年度、農林水産省の公募事業に応募して、平成22年度花き産業活性化事業（花きに対する正しい知識の普及・検証事業）及び平成22年度国産花き等生販連携体制構築事業（花き商品情報提供強化事業）を実施することになったので、これらの事業の円滑な実施に協力する。

また、全国の花き卸売市場等の協力を得て、最新の花きの品種別流通取扱数量のデータを収集・分析し、花きのトレンド情報や産地情報等を定期的に情報発信する。

更に、これらのデータ等を活用して、我が国の花き産業の振興に多大な貢献をした者に対する「日本フラワービジネス大賞」の選考・表彰を行う。

（4）消費者等に対する花きに関する情報提供の強化

我が国の花文化の向上並びに花き需要の新たな創出のためには、花き業界関係者の幅広い参加協力を得て、消費者の求める花きに関する情報を収集・整理・加工するとともに、その情報を消費者へ直接または花きの小売関係者やマスメディア関係者等通じて効果的に提供することが重要である。

ア インターネット等を活用した花き情報の提供

一般消費者との花に関する情報提供・交流を推進するため、新たに開設したホームページ「花はなフラワーど」 (<http://www.jfpc.or.jp/hanahana/>) については、以下のような多様な情報を消費者の投稿とともに、花き業界関係者からの情報発信を受けて、効果的かつ効率的に運営管理する。

- ① 投稿コーナー：広く消費者等から投稿してもらい、その文章や写真を掲載するコーナーを設ける。「花にまつわるちょっといい話」、「ちょっと楽しい花のインテリア」及び「ちょっと楽しい花づくり」の公募や入賞作品の紹介
- ② 旬の花紹介コーナー：物日や季節の行事に合わせて、花の楽しみ方や商品を提案・紹介する。「トップデザイナーによる旬の花の楽しみ方」、「花屋さんの新商品」及び「産地からの旬の花便り」の紹介
- ③ 花と緑のデータベース：花と緑に関する、基本的な統計データ、ホームページの検索案内、普及イベントの日程、効用・機能、花言葉及び豆知識等を検索可能な方式で紹介

イ フラワーデータブックの発行

花き産業に関する基礎的なデータ集として「フラワーデータブック」の発行形式については、利用者がデータの加工しやすいCD化を検討する。

ウ Flower Today の発行

花き産業の動向や課題等の情報を簡潔にとりまとめ、当センターの賛助会員

等へ定期的に提供する。

エ マスメディア等による花に関する情報発信への協力

広汎な花の普及啓発に資するマスメディアからの問い合わせ等に積極的に協力する。

(5) 国産花き輸出拡大の支援

国産花きの輸出拡大を図るため、国産花きの輸出に取り組もうとする花き業界関係者で設立された全国花き輸出拡大協議会の事務局として、情報の収集、交流活動、海外広報活動等の業務運営に当たる。

(6) ジャパンフラワーフェスティバル（JFF）等の実施及び支援

「ジャパンフラワーフェスティバル」は、今年度が平成2年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」の20周年記念に当たるため、財団法人国際花と緑の博覧会記念協会が主催する「花の万博20周年記念事業」の一環として、「水の館ホール展」と一体的に実施することとし、花き関係団体の参加協力を得て開催する。

更に、日本経済新聞社、東京テレビ及びIMG等の民間事業者が、造園業界や花き業界の参加・協力を得て、国営昭和記念公園を会場に開催を計画している「東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー2010」及び丸の内地域の都市地域開発関係者と花き業界関係者が提携して取り組む「東京丸の内フラワーウィークス2010」については、実行委員会に参加して支援する。

① 「ジャパンフラワーフェスティバル2010in大阪」の開催計画

＜「花の万博20周年記念事業」の「水の館ホール展」と一体的に開催＞

主催： ジャパンフラワーフェスティバル2010in大阪実行委員会

会期： 2010年4月29日（木）～5月5日（水） 7日間

会場： 花博記念公園鶴見緑地 水の館ホール（大阪府鶴見区）

② 「東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー2010」の開催計画

主催： 東京インターナショナルフラワー&ガーデンショー組織委員会

会期： 2010年4月17日（土）～25日（日） 9日間

会場： 国営昭和記念公園 花みどり文化ゾーン（東京都立川市）

③ 「東京丸の内フラワーウィークス2010」の開催計画

主催： 丸の内フラワーウィークス実行委員会

会期： 2010年4月20日（火）～25日（日） 6日間

会場： 東京丸の内地域（丸ビル、新丸ビル、行幸地下ギャラリー、仲通り等）

(7) 全国花のまちづくりコンクール等の実施

花と緑によるゆとりある地域づくりを推進するため、引き続き花き関係団体と連携して「第20回ちづくりコンクール」を開催する。

なお、花きの生産構造の改善に資する「第20回花の国づくり共励会花き技術

・経営コンクール」については、その実施方法等を見直して、日本花き取引コード普及促進協議会と連携して開催する。

(8) ジャパンフラワーセレクション（JFS）等の支援

国内外の新品種の中から、優れた品種を選んで生活者の花や緑のあるライフスタイルを質的に向上させること、新品種の開発・導入の水準を向上させること、花き産業の発展を図ることを目的として実施するジャパンフラワーセレクション（JFS）を支援するとともに、ジャパンフラワーセレクション実行協議会の事務局として業務運営に当たる。

また、JFSの年間入賞品種の中から、フラワー・オブ・ザ・イヤー等の選考・表彰を行う。

(9) 切り花の日持ち試験認定事業の実施

日持ちの良い切花の供給を推進するため、日持ち試験施設を有する花き卸売会社等と提携して、切り花の品質判定基準の検討・設定及び日持ち試験等を実施する。

(10) 「日本花き園芸産業史・20世紀」の編集・刊行の支援

我が国の花き産業並びに園芸文化の発展・振興に大きな成果をあげた20世紀について、その史実を花き業界関係者の幅広い参加協力を得て編集・刊行することに対し、事務局として業務運営に当たる。

(11) 後援・表彰等による支援

地方自治体や花き関係団体等が行う各種品評会やコンクール、展示会等に対する後援、協賛を行う。

(12) セミナー、シンポジウム等の支援

花き関係団体等の要請に基づき、セミナー、シンポジウム等各種研究会等の開催や講師の派遣、コンサルタント活動を実施する。

3. 国際交流事業の内容

日本から世界に向けて、花と緑の園芸文化、花き園芸や造園の高度な技術等を定期的に情報発信して国際交流を推進するため、今年度、国内で開催される「国際ガーデンセンター協会（IGCA）2010総会・日本大会」（期間：平成22年10月10日～15日 開催地：東京、京都 事務局：日本園芸商協会）に協力するとともに、「フロリアード2012」（期間：2012年4月1日～10月28日 開催地：オランダ国フェンロー市）等の海外における国際園芸博覧会等の情報収集・提供を行う。